



一般社団法人

千葉県

作業療法士会

ニュース

特集

第26回千葉県作業療法士学会のご案内
災害対応訓練のおしらせ
部局・委員会活動報告



発行責任者：松尾 真輔
編集者：一般社団法人 千葉県作業療法士会 広報部 広報委員会
発行者：一般社団法人 千葉県作業療法士会 事務局
発行：2024年 9月 <http://www.chiba-ot.ne.jp>
〒266-0031
千葉県千葉市緑区おゆみ野 4-21-1 スカイビルおゆみ野 2階
TEL 080-3317-7864

令和6年度 定時総会が開催されました



令和6年6月23日に千葉県立保健医療大学幕張キャンパスにて、令和6年度定時総会が開催されました。

総会ではそれぞれの議案について可決承認されました。総会終了後、今期で会長を退任された、坂田祥子元会長への感謝をこめて、セレモニーが行われました。

様々な活動への見直しや新しい仕組みづくりが求められることになったCOVID-19禍においても、歩みを止めず士会活動を前向きに推し進められたのは坂田元会長の強いリーダーシップがあつてのことであつたと思います。

改めて坂田元会長、ありがとうございました。

総会後は、新理事での臨時理事会が開催され新体制での

三役、監事が選任されました。

新会長には、松尾真輔氏、副会長には今野和成氏、五味幸寛氏、兼子健一氏、事務局長には有川真弓氏、幹事には坂田祥子氏、土居義典氏がそれぞれ就任されました。

理事においても今期より新任となる方も含め前向きでパワフルな理事が集まりました。

皆で協力・連携しあいながら今後も様々な活動に取り組み作業療法士の取り組みを支援し、地域へ還元していきたいですね。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(文責：広報委員会 露崎)



令和6年度 一般社団法人千葉県作業療法士会 定時総会の報告①

去る6月23日(日)10時より 千葉県立保健医療大学 B111 教室にて令和6年度定時総会が開催された。以下のとおり報告する。

1. 議案書の公開と質問の受付：議案書をホームページで公開し、議案に対しての意見や質問を6月13日(木)まで受け付け、6月15日(土)に質問とその回答を代議員にメールで送付した。(報告②に掲載)
2. 総会当日、代議員35名(議決権行使書含む)が出席し、議長に菅澤代議員が選出され、第1号議案 令和5年度事業報告、第2号議案 令和5年度会計報告、第3号議案 役員の選任に関する件について審議され、すべての議案に対し賛成多数で可決承認された。

総会当日の質疑内容

1. 認知症コーディネーターについて

質問内容：千葉県の認知症対策施策の状況について、特に認知症コーディネーター周辺の施策が現状どようになっているのか、また「会員のニーズに合っていない」との分析もあるようだが、現状のニーズはどの辺にあると考えているのかも教えていただきたい。

回答内容：令和4年度から制度が変わったため新規の認知症コーディネーターはできていない。若年性認知症コーディネーターが新設されたが研修会がタイトなスケジュールのため委託を受けていない。研修会自体の開催が難しくなっている、さらに認知症コーディネーターが減少していることが課題と感じている。ニーズについて、地域に還元していくOTが求められている。千葉POSの研修をスリム化し地域的な活動を検討していきたい。

2. 臨床実習指導者講習会指導者研修会の会議について

質問内容：会議はどの程度の時間を要しているか。会議の開催回数が非常に多いと感じ、それに合わせた会議費の支出が適正か疑問である。ボランティア的な活動になっていないか。

回答内容：委員会内において、講習会運営部門、広報部門など4つの部門を構成しており、それぞれの部門や委員会全体で必要に応じて会議をしている。そのため会議

時間は様々であり、会議回数も多くみえている可能性はある。しかし、委員会の規模が大きいため、委員会内で部門を分けて運用することは円滑な運営に必要な対応だと考えている。会議費はお弁当を購入しない方もいるため少なくなっている。通信運搬費は講習会が16時間であるが、全ての時間を計上すると莫大な金額になるため、自身が担当する講義・グループディスカッションの時間だけの請求をしている。委員に負担をかけてしまっていることは否めないため、今後対策を検討していく。

3. 会計処理について

質問内容：財務部、各委員会の会計担当ともに会計処理の苦労がうかがえる。会計の方法について、会計士との連携を強化し例えば月次決算にするなど、負担を軽減させないと厳しいのではないか。

回答内容：会計士への委託金が今年度より20万円への増額依頼があり、先日の理事会で承認されている。会計士からはエラーが多いため毎月チェックした方が妥当だろうとの話になっているが、月次決算では委託金は80万円程度必要と言われている。現実的には厳しい。内部留保は年会費が必ず収入として得られるか不確実なため、実際はそこまで大きな額が残っているわけではない。

4. 市町村担当者配置事業及び千葉市フレイル改善事業について

質問内容：活動総括の内容で、市町村担当者配置事業が現状どれくらい進んでいるのか。千葉市フレイル改善事業の現状を教えてください。事業費はついているか。PT・STと協働しているのか。

回答内容：市町村担当者配置事業については、OT協会から介護予防を推進するための担当者を配置することが進められている。現状把握のため情報収集している。広域支援センターの活動も視野に入れて検討している。現時点では他職種とは連携していない。他都道府県の活動を参考に千葉県版を模索していきたい。千葉市フレイル改善事業については、千葉市で短期リハビリ型訪問サービスを開始することになり伴奏型の支援方法を協議してマニュアルを作成した。モデル事業も開始する予定。支援する方に対してのアドバイス、参加団体への講習会等を検討しているが具体的にはまだ検討が進んでいない。現時点で事業費はついていないが、6月以降は予算がつくことになっている。

5. 会員数について

質問内容：退会者が増えているため収入が減少しているとのことだが、新規会員増加、退会者減少に向けた活動は何を考えているか。県士会の在り方をわかりやすく提示していただきたい。また、ニーズ調査をしてはどうか。

回答内容：加入率が減少している。入会のメリットが感じられないのではないかと。専門・認定制度の負担が大きいことも一因か。メリットの提示内容・方法は理事会で引き続き検討していきたい。

6. 広報について

質問内容：広報媒体が紙面からオンライン化している。広報指針のガイドラインがあった方が良いのではないかと。

回答内容：県士会ベース・委員会ベースの広報がある。投稿の枠組み等は提示が重要と感じるが、細かいルールはそれぞれの実情に応じた活動が望ましいと考えている。

全ての議案について承認され、11時30分閉会となった。

(千葉県立保健医療大学 有川真弓)

令和6年度 一般社団法人千葉県作業療法士会 定時総会の報告②

議案書の公開と質問の受付:議案書をホームページで公開し、議案に対しての意見や質問を6月13日(木)まで受け付け、6月15日(土)に質問とその回答を代議員に以下の通りメールで送付した。

【第1号議案】

Q1 3ページ(活動総括)
「行った政治活動は、その結果や経過を理事会に報告することとしました」とあるが、一般会員にも周知をはかってほしい。その際は、表現などには細心の注意をはらってほしい。
⇒ いただいたご要望・ご意見を承知した。県士会活動については適切に会員に報告するように留意する。

Q2 9ページ(災害対策委員会)
5. 1) 台風13号による豪雨被害に対し、被災した会員への年会費免除申請を受け付けたとのことだが、申請→免除の実績は如何か?
⇒ 申請期間を令和6年3月15日まででしたが、年会費免除申請はなかった。県内で災害発生の際は随時情報収集を行い、被害状況等にに応じて、年会費免除申請等の対応策を講じていく。

Q3 10ページ(地域連携部 地域共生社会推進委員会)
活動計画ではないか?
⇒ 今年度の計画を掲載していただいた。2023年度の実績は以下の通り。
地域連携部 地域共生社会推進委員会

- I. 部員数 15名
- II.
- 1. 研修事業
- 1) 地域連携推進研修会の開催「OT参画のための市町村担当者設置事業について」9/28 参加者 35名
- 2) ブロック部&地域共生社会推進委員会 意見交換会 2/21 参加者 18名
- 2. ネットワーク構築と見直し(「まめーる」の運用)
- 「まめーる」の月2回の配信/各種研修会等の配信
- 登録者数 376 (5/25 現在) 本年度登録者数 29名 (昨年度 47名)
- 3. 地域におけるOTの活動の現状把握
- 会議とブロック部との会議を実施し情報共有を実施。
- 4. 定期委員会の開催
- (7回 4/27、6/22、7/20、9/21、10/26、11/21、1/25)
- 5. 本協会関東ブロック会議への参加

地域事業支援会議 (3回 6/23、10/7、3/3) 関東ブロック会議 (3回 6/6、7/5、3/12)

Q4 11ページ(認知症対策委員会)
専門職研修の参加人数が少な要因はなにか。
⇒ 要因は、千葉県認知症コーディネーターの受講要件および新たな認定がなくなったこと、基礎コースの受講者があ一定に達し、会員のニーズに合わなくなっているのでは、ということがあるのではないかと考えている。

Q5 12ページ(広報部 企画委員会)
2) 各企画の、学生参加人数と、内容および学生側の反響について、教えて欲しい。
学生向け企画は今後も力を入れてもらいたい。
⇒ 【秋の学生企画】

- ・参加者数: 学生参加 3名
- ・学生の反応: 「色々なお話ができて、参加して良かった。」「不安に感じていることがスライドにまとめてあってよかった」など。
- 【養成校卒業生向け説明会】
- ・参加者数: 学生参加 17名 (11名 +6名)
- ・学生の反応(県士会に期待する事・その他のコメント): 司法領域での作業療法についての情報交換の場などがあると嬉しい。整形外科分野の勉強会を行なってほしい。がんリハや緩和ケアに関する勉強会を行なってほしい。終末期に関する研修会はありますか? 研修会が開催される時期を教えてください。どのような地域活動をしていますか? 災害支援に興味があるのでいろいろと教えて欲しい。同じ年数同士でなど、不安や職場での業務について交流会があるといい。現状では希望したいものが思い浮かびませんので、入会してみたい事が出てきたらリクエストさせてほしい。今年就職する会員同士での交流会等をやりたい。県士会活動の具体的なイメージが持てていない。協会のことがまだよくわからない。OTだけでなく他の職種との交流について知りたい。就職先の病院だけでなくいろいろな

人と関わりたい。後輩などに対する伝え方、接し方について知りたい。県士会の活動に参加するきっかけ作りがほしい。

Q6 13ページ(広報部 広報委員会)
一般向けパンフレットの配布のii流山市地域リハビリテーション連絡会(市民公開講座)に30部とありますが、この公開講座で、士会として対応したのか? また東葛北部ブロックは、この企画にはかかわらなかったのか?

⇒ 広報委員会としてはパンフレット発送のみの対応。
⇒ 上記企画について、東葛北部ブロックとして連携は取っていない。

Q7 13ページ(教育部 MTDLP委員会)
今年度は、基礎研修1回だけか? 参加人数をも教えて欲しい。
⇒ 当初の計画では、基礎研修会や事例検討会を年2~3回行う予定であったが、委員の急な離脱などで、委員会を運営が困難となった。R6年度は基礎研修会を年2回、事例検討会を年2回行う予定である。昨年度の研修会参加人数は34名。

Q8 ブロック研修会や交流会で、ブロック外の会員も参加できるようにして欲しい。
⇒ 前向きに検討するが、必要に応じての対応となることはご了承いただきたい。

【第2号議案】

Q9 学会参加費収入について参加人数に対して少ないようだが参加者の内訳を教えてください。
⇒ 当日の参加者の内、学生は31名、ボランティアは34名、運営委員は21名。合計86名分は参加費収入に含まれていないのでそのような印象をもたれたのかと考える。参加者の内訳は、会員195名、非会員24名、その他12名、学生31名、ボランティア34名、運営委員21名の合計317名。

【第3号議案】

Q10 女性の理事が増えたのは、好ましいが、精神障害領域や、介護保険領域の理事が少ない要因は考えられるか? いずれにしても、職域が拡大していく中で、多様な現場・属性のOTが県士会活動に参加していけることや、それぞれの課題に目が行き届くような情報・意見収集に取り組んでいただきたい。
⇒ 多様な領域・現場・属性の会員に、代議員や役員としても県士会活動に加わっていただけることは重要と考え、機会あるたびにお声かけをしてきたが、ご指摘のあった精神障害領域や介護保険領域の方は、比較的県士会活動に加わっている会員が少ない、もしくは、すでに、複数の県士会活動に参加されているなど、役員として活動することが難しいとおっしゃられた方もおられる。
様々な現場の会員の声が県士会活動には必要と思われるので、広く意見を集められるよう努めて参りたい。

作業療法士学会

医療から暮らしにつなぐ作業療法士

～対象者は全人類、その人らしさを探求する～

information

会場 千葉県立保健医療大学

開催日 令和7年3月9日(日)

学会長 露崎 雄太
(医療法人社団淳英会おゆみの中央病院)

県士会、学会広報用 SNS アカウント



学会 X アカウント
@2122cot2020



基調講演、教育講演 講師 決定いたしました！

第26回学会の基調講演、教育講演演者の先生が以下の通り決定いたしました！

どの先生も非常に魅力的なテーマでお話いただきます。

明日からの実践の大きな力になること間違いなしです！！

当日はぜひ、会場において頂き LIVE でご聴講ください♪



学会HPへはこちらから

■ 基調講演 「作業療法は人々の健康や幸福にどのように貢献できるのか？」

近藤 克則 氏

千葉大学 名誉教授、グランドフェロー
千葉大学 予防医学センター 健康まちづくり共同研究部門 特任教授

■ 教育講演

「移動支援・運転再開について (仮)」

藤田 佳男 氏

千葉県立保健医療大学 健康科学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻 教授

「医療観察法で作業療法士は何ができるか？ (仮)」

浪久 悠 氏

国立精神・神経医療研究センター 作業療法士長

ポスターに使用するイラストや写真の公募について

ポスターに使用するイラストや写真を公募いたしましたところ、2点の作品の応募がございました。

どの作品も素晴らしく、作品にはとても素敵なエピソードまで添えていただきました。

現在ポスターの準備を誠意行っております。完成した折には、みなさまの職場などにご掲示頂けますと幸いです。

学会ロゴマークが決定しました！！



26th Chiba OT gakkai

学会テーマ

「医療から暮らしにつなぐ作業療法士～対象者は全人類、その人らしさを探求する～」

ここから、医療や暮らしを、多様なその人らしさをOTの手が繋ぎ支え、包み込んでいる様子をロゴに落とし込みました。

実行委員みんなの思いが詰まったロゴマーク。

みなさまにも愛していただければ嬉しいです♪

演題募集期間を延期します！！

皆様からの演題申し込みをお待ちしています！！



演題登録はこちらから

演題応募締め切り 令和 **6** 年 **9** 月 **16** 日

災害対策委員会より

安否確認訓練の実施について

日本作業療法士協会主催の「大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練」が今年度も実施されます。千葉県作業療法士会は今年もこの訓練に参加します。

この訓練の一環として、一般会員の皆さんには「まめーる」を活用した安否確認訓練を実施致します。

実施日時：2024年9月25日(水) 正午ごろ *9月25日は作業療法の日です！

実施方法：被害状況・安否確認に関するアンケートメールを「まめーる」にて配信します。

配信文に回答用 Google form のリンクを掲載しておりますので、速やかに回答をお願いします。
速やかに回答・返信をお願いします。

近年様々な災害が全国各地で頻発しています。平時より災害への備えを行うことがとても大切です。
まめーるに加入されていない方は、この機会にぜひご加入ください。
皆さんの積極的なご参加とご協力のほど、よろしくお願いします。

M@mail (まめーる) 登録のご案内

メール配信サービスである M@mail は災害時の連絡手段、情報収集が主目的ですが、研修会情報や理事会議事要旨など会員の皆様に向けた情報提供も積極的に行っています！！

現在 340 名程の方に登録いただいています。

まだ登録がお済みでない方は、QR または、こちらのアドレスに空メールを送ることで登録できます！ぜひともご登録ください！！ caot_iha0006@mamail.jp



LINE 公式アカウントについて

月 2 回を目安に研修会情報などを配信していきます。

現在 262 名の方に登録頂いています。皆様のご登録お待ちしております！！

友達追加の方法

友達の追加→QR コード
→右の QR コードを読み取る



友達の追加→ID 検索から以下の ID を入力

@442xxhdx

QR コードは (株) デンソーウェブの登録商標です

広報委員会からのお知らせ

これまでも県士会ニュース（以下ニュース）でご案内してきましたが、2025年のペーパーレス化にあたって県士会から会員の皆様への情報提供に関する変化などを紹介します。なお、記事執筆時点 2023年10月での情報提供になるので今後変更となる可能性があることをご了承ください。

2021

- ・ まめーる登録者増加
- ・ ペーパーレス化周知
- ・ Web掲載の準備

2023

2024

- ・ 紙+Web掲載の試行

2025

- ・ ペーパーレス化完了

ペーパーレス化に向けての大まかな予定

今後のイメージ



ニュースのペーパーレス化については、2021年から会員の皆様にご案内しておりますが、2024年からは紙媒体でのニュース発行と県士会ホームページ掲載（バックナンバー閲覧もできるように検討中です）を行う予定です。

研修会案内や県士会から会員の皆様への情報

提供は主に公式LINEアカウントと千葉県作業療法士会Facebook、まめーるにて行っていく予定です。

なお、まめーるでの災害時の連絡手段や情報収集については継続します。

なお、ペーパーレスの切り替えにむけて、広

報誌などで案内は続けますが、切り替え後の会員の皆様への周知は現状予定していません。

会員の皆様には、このような変化を踏まえて、まめーるや公式LINEアカウントをぜひ積極的に活用していただきますようお願いいたします。

Activity Report

#1. 東葛南部ブロック

第1回東葛南部ブロック交流会 活動報告

2024年6月30日(日)に、千葉県作業療法士会東葛南部ブロック主催「第1回東葛南部ブロック交流会」を開催致しました。「東葛南部ブロックの地域共生を考える～地域のために明日からできること～」というテーマでの開催となりました。

交流会当日は15名の皆様にご参加いただきました。ブロックの垣根を越え千葉県のOT、OTSの皆様と繋がることができ、東葛南部ブロック委員一同大変うれしく思います。

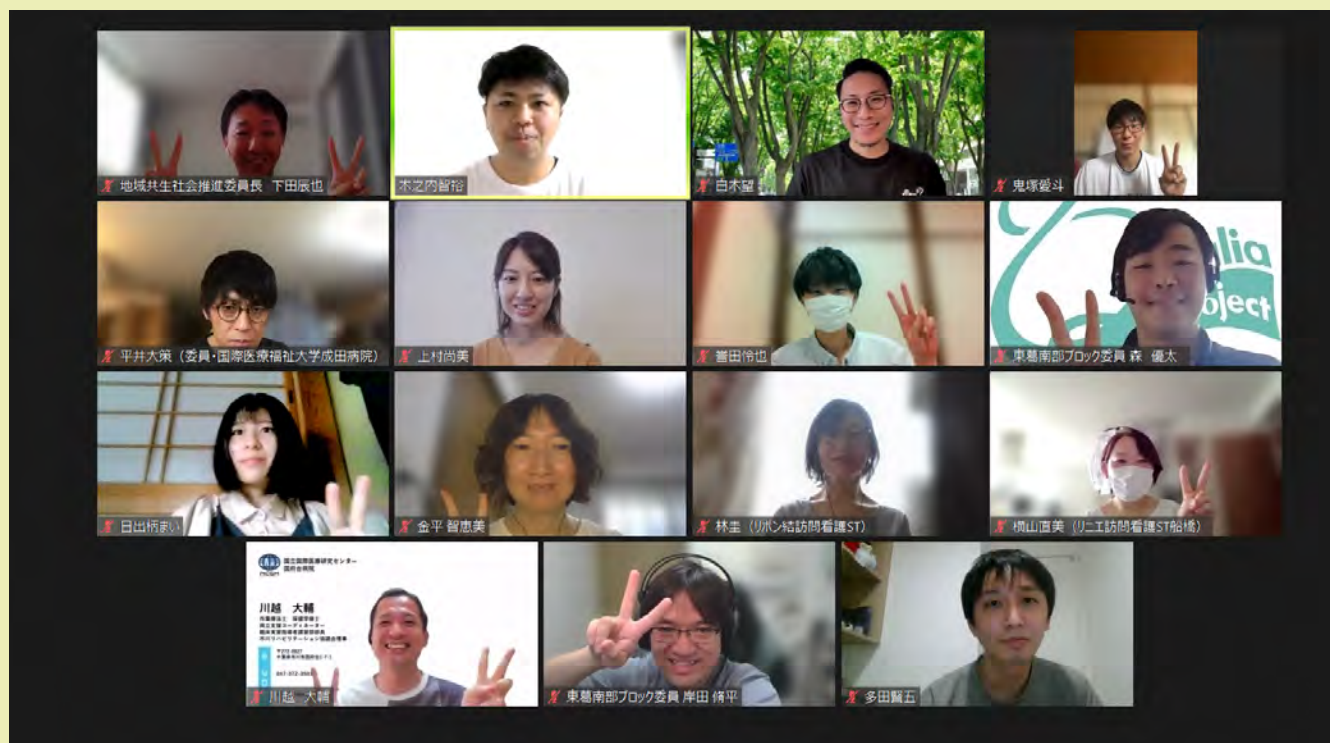
交流会内容に関しては「地域のために明日から何ができるか?」、「明日から私たちに何ができるか?」の2本立てで行いました。前者は岸田脩平先生(東葛南部ブロック委員長)、川越大輔先生(市川市リハビリテーション協議会)、下田辰也先生(千葉県作業療法士会地

域共生社会推進委員長/国保直営総合病院君津中央病院)の3名の先生方よりレクチャーをいただきました。後者はグループディスカッション中心に交流を行いました。作業療法を認知してもらうために明日からできること、地域でしてみたいことを共有しました。改めて地域のためにOTとして何ができるのか考えるきっかけになったのではないのでしょうか。アンケート結果からも、好評価を頂き委員一同、お役に立てて嬉しい限りです。

本年度は東葛南部ブロックにおいて対面、zoomハイブリッドでの研修会や、第2回交流会の開催を予定しています。ご興味がある方は県士会ニュースやまめーる、その他SNSなどを是非、チェックしてください。共に東葛南部ブロックを盛り上げていきましょう。

今後とも東葛南部ブロックをどうぞよろしく
お願い致します。

東葛南部ブロック委員 一同



参加者の皆さんと委員でのスクリーンショット!
皆さんとても充実した笑顔ですね♪

生活行為向上マネジメント基礎研修開催報告

今期から MTDLP 委員会の担当理事になった佐々木啓人です。

7/20(土)に千葉県立保険医療大学の仁戸名キャンパスをお貸りして、現職者選択研修対象の生活行為向上マネジメント(MTDLP)基礎研修が開催されました。

実に約4年ぶりの対面研修となります。

MTDLPの作業療法マニュアルも改定第4版が発行されました。講義でもその新しいテキストの内容に触れながら、グループワークで模擬事例での実践も交えて理解が深まる内容になったかと思ます。

研修会参加の皆さんは臨床経験は実に様々、1年目から20年を超えらる方まで。病院所属の方でも領域は身体領域や精神領域、こども発達支援センターの方もいらっしゃいました。様々な視点でのディスカッションになった様子です。

千葉県作業療法士会の MTDLP 委員会には生活行為向上マネジメント指導者が所属しています。基礎研修を修了されて実践者研修に進む方や事例登録や事例検討会に進みたい方の相談も随時受け付けております。また、委員会に所属したい方も募集中です。

是非、MTDLP を様々な臨床現場で盛り上げていきましょう！



運営委員と研修会の様子



参加者の皆様の様子

第26回千葉OT学会絶賛準備中です！

今年度の千葉県作業療法士学会は千葉中央ブロックと学会委員会で準備をすすめています。

学会の実行委員長岡野さんと、副実行委員長の児玉さんからメッセージを頂きました。ぜひ、ご一読ください♪

第26回千葉作業療法士学会実行委員長を仰せつかりました、医療法人石郷岡病院の岡野朋子と申します。

第25回の節目となる昨年度の学会では、作業療法の産声から未来までを共有し、次の一歩へ向かう大きな力をいただくことができました。数年ぶりの対面形式での学会の盛会にご尽力いただきました委員のみなさまに、心より感謝と敬意を表します。

第26回となる今年度の学会では、更につながりと学びを広げ、深める場としていただけるようにと準備を進めています。基調講演や教育講演では、現地とオンデマンドの両方で、多くのご厚意をいただき、多様なテーマが揃いました。ワークショップや出展ブースには、作業療法の学生、委員会、個人、さらには他職種や市民の方々から20件を超えるご応募をいただき、会場の配置とタイムテーブルに頭を悩ませる嬉しい悲鳴を上げております。また、ポスター素材には、本学会のテーマを体現するかのような、思わず笑顔になる温かい作品をお寄せいただきました。

木々が芽吹き、成長し、やがて花を咲かせるように、みなさまのお力で本学会が彩られていくことに、委員一同、大きな喜びと励ましを感じております。深く御礼申し上げます。

千葉県や近隣の作業療法士、ならびに連携する方々の取り組みが更に前進し、実を結ぶことができるよう、みなさまのお声を大切にしながら準備を進めてまいります。引き続きご指導、ご支援をお願いいたしますとともに、共に歩みを進めていただけますことを心より願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

第26回千葉県作業療法士学会において、副実行委員長を拝命いたしました、千葉県総合救急災害医療センターの児玉広賢と申します。

本学会のテーマは「医療から暮らしにつなぐ作業療法士～対象者は全人類、その人らしさを探求する～」としました。コロナ禍後に行われた第25回に引き続き、2回目の現地開催となります。医療から暮らしに関わる作業療法士の新人・若手からベテランの方々までが同じ会場に集まる事で、本学会を通して知識・人脈・おもいをつなぎ、今後も連携していくきっかけとなれば幸いです。

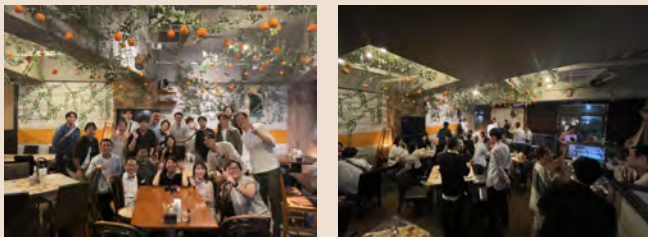
そのために露崎学会長、岡野実行委員長、千葉中央ブロックおよび学会委員の全員で力を合わせ、日々企画や準備を進めており、良い事は継承し、新しい事を始めていく事も検討しております。

千葉県OT学会は年に1度開催。私としてはお祭り気分です。きっと当日もあっという間に過ぎてしまうでしょう。そんな時間を参加する皆様で共有できれば思っております。是非、多くの方にご参加頂き、お会い出来る事を楽しみにしています。

千葉市リハビリテーション連絡会交流会

いざというとき、顔が浮かぶ、声を掛けられるPT、OT、STさんはいますか？近隣地域での柔軟な連携を広げようと声をかけあい、千葉駅近くのイタリアンレストランに30名を超える方が集まりました。所属先や自身の興味関心を報告しあいながらの歓談は、時間が足りず、2軒目に続くほど大盛況でした。

今回は9月20日（金）です。ぜひ一緒に！！



参加者からの声

- 名前は聞いたことがあったけど初めて参加しました。同じ地域なので話も合い、繋がりが増えて、とても良い交流会でした。
- 前回から数年ぶりの対面開催。普段からお付き合いのある病院の方々や、地域でお世話になっているの方々。繋がりの重要性を再度実感できました。千葉市の地域医療の拡充に向けて今後更なる発展を期待します。

千葉市健康づくり大会

今年も出展します！**運転支援検討委員会**とのコラボも決定♪

千葉市民の方たちの豊かな生活への寄与、交流、OTの啓発等、たくさんの目的を胸に、昨年いただいたご質問やリクエストに応えられる内容にしようと準備を始めました。

10月19日（土）、千葉市きぼーるにて。お会いできるのを楽しみにしています！



福祉用具対策委員会からのお知らせ

福祉用具対策委員会 新委員長就任のご挨拶

皆様、初めまして。この度小林毅先生の後任として委員長を拝命いたしました、総合リハビリ研究所の菊池隆一郎と申します。

作業療法士になってすぐから福祉用具を含めた住環境整備に興味を持ち、現在まで臨床や教育と平行して福祉用具貸与事業所のお手伝いや福祉用具の新規開発、効果判定などに取り組んで参りました。

県士会員の皆様におかれましては、昨今の感染症の影響によって対面が難しかったため、実際に福祉用具を使用しながら学んだり、新しい製品知識を得る場に足を運んだり、福祉用具について仲間とディスカッションをする機会を設けることが難しくなったりなど、多くの制限があったかと思えます。今後、福祉用具対策委員会としては、県士会員の皆様のために福祉用具を学ぶ場の開催や、患者様や利用者様の生活を改善する工夫情報システムの提供（別記事をご参照下さい）、皆

様の臨床での困りごとをベースとした相談事業等に注力して参ります。また、今年度は委員会として様々な企画を準備した上で千葉県作業療法士学会への参画も検討しております。

対面・オンラインを問わず、県士会員の皆様と接点を持つ機会を多く持つことにより、相互に顔が見える関係を作り、千葉県の福祉用具・住環境整備を盛り上げて行きたいと考えております。また、医療・地域を問わず、他職種や行政とも積極的に連携を図ることで、広く深い視野・視点をもち、皆でさらに患者様や利用者様の役に立つ作業療法士に成長したいと考えております。

皆様の臨床や教育場面等でのちょっとした困り事の解決や知識欲・興味に応えられるように尽力して参ります。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

生活行為

工

夫情報事業

はじめました

今年度より千葉県作業療法士会は「生活行為工夫情報事業」に参画します。皆さんは臨床をしていて、他のセラピストがどんな“工夫”を対象者の方に対して実践しているのか気になる事はないでしょうか？

福祉用具を導入する機会も沢山あると思うのですが、用具を変更するまででなく「ちょっと身の回りのもので、少しひと手間加えて」。そんなセラピストの工夫が詰まっているのを情報として閲覧できる・投稿できるのがこの事業になります。

今年度よりこの事業に正式に参画していますので、①日本作業療法士会員で千葉県作業療法士会員であること②福祉用具相談支援システムに登録していること（登録は無料です）ですすぐ閲覧が可能です。

対象者の方にとっては、馴染みのものも沢山あります。必ずしも既製品ばかりの提案

にはならない事もあり

ます。なかなかこういう現実的で現場的な情報は共有される機会が少ない！是非、県士会員の皆様にお届けしたい！こんな想いでこの事業に参画しました。

是非、一度閲覧してみてください。

福祉用具相談支援システム

1. 福祉用具相談支援システムにログイン
2. 画面に生活行為工夫事業を選択

研 修 会 案 内

研修会詳細は千葉県士会 HP 研修会案内をご確認ください

千葉県東総ブロック研修会【卒後教育と作業療法のスキルアップ】

【日程】2024年9月1日(日)13:30~15:30 予定 【会場】国際医療福祉大学 成田キャンパス

【内容】就職後、皆さん何から勉強していますか？

いくつかの病院での研修プログラムについて、外部研修について発表してもらい、

今後の卒後教育・キャリアラダーの参考にさせていただければと思います。

【講師】現在調整中 【定員】40人程度予定

【申し込み】こちらのQRからアクセスしてください

【申し込み期限】現在調整中



令和6年度認知症リハビリテーション専門職研修(応用コース)

【日程】①令和6年10月26日(土)13:00~16:30(会場)オンライン

②令和6年12月14日(土)13:00~17:20(会場)八千代リハビリテーション学院

他:アーカイブ動画

【研修会内容・講師】認知症リハビリテーション専門職研修 応用コース ※HPのプログラム参照

【定員】30名【申し込み方法】QRコードよりお申し込みください。

【申し込み締め切り】令和6年9月14日(土)~10月16日(水)



発達障害委員会主催研修会

【研修会名】学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会(基礎編)【講師】未定【定員】60名

【研修期日(時間含)】2024年10月5日(土),6日(日)【場所】オンライン

【内容】近年、教育現場における作業療法士に対するニーズは高まっています。会員の中にも教育現場と関わりたいと感じる方も多いかと思いますが、同時にどのようにかかわることができるのかわからないなどの声も多く聞かれます。今回、日本作業療法士協会からの後方支援を受け、教育現場を理解し、支援を行うために必要な知識・技術を習得できるように企画いたしました。県内(遠隔地を含む)並びに県外からの参加も多数お待ちしております。

【申し込み方法】QRコードよりお申し込みください【申し込み締め切り】2024年9月24日(月)



発達障害委員会主催研修会②

【テーマ】「発達領域における評価の視点：非構成的評価ってどうしてる？」

【日程】令和6年11月もしくは12月の金曜日【時間】20:00~21:30

【開催形式】オンライン【講師】当委員会委員【定員】50名

【研修会内容】事例提示+事例情報に基づき評価の目的や評価項目について検討する

【対象】千葉県内作業療法士(会員・非会員)、作業療法学生

【参加費】無料

【申込方法】千葉県作業療法士会HP内に掲載されたご案内よりお申込み下さい。

【その他】詳細については県士会HPにて後日掲載予定

研修会名：第5回千葉中央ブロック交流会

【日程】2024年9月27日(金)第1部19:00~、第2部20:15~

【開催方法】第1部：現地&オンライン(ハイブリッド開催)/第2部：現地のみ

【場所】第1部 蘇我コミュニティセンターまたはZoom

第2部 蘇我駅周辺飲食店

【研修会内容】聞いて想って語り合おう千葉中央ブロック

【定員】作業療法士、作業療法士を目指す学生 30名

【申し込み方法】QRコードよりお申し込みください

【申し込み締め切り】2024年9月24日(火)





理事会報告

2024年度 第2回 理事会

2024年5月22日(水) 19:00～21:30 保医大幕張キャンパスにてハイブリッド会議
坂田 須藤 今野 松尾 有川 兼子 熊谷 五味 佐々木 (啓) 多田 土居 野口 安森 横山 大塚 古城 計 16名

【検討事項】

1. 令和6年度定時総会

<進捗状況と今後の予定>

5/22現在、会計書類点検中である。監事は郵送で内容確認(必要に応じてメール・電話連絡等)と署名・返送で行い、6/5には完了。6/8に議案書をHP上で公表し、質問に対する回答対応を行う。併せて議決権行使書の提出も行う。

2. 生活行為工夫情報事業への参画について(福祉用具対策委員会)

OT協会生活環境支援推進室について、福祉用具支援相談システムは42士会が参加し、生活行為情報事業は31士会が参加している。生活行為情報事業では、既製品の工夫に関する情報共有システムを提供している。生活行為工夫情報事業に参画について、士会員に向けての情報提供などのサービス向上が期待できる。事業に参加すると事例報告の努力目標はあるが、クリアできそうである。協会からの支援金支給などのメリットもある。⇒事業への参画承認

3. 全国脊髄損傷者連合会 千葉県支部からの後援依頼について

全国脊髄損傷者連合会 千葉県支部から「10回・車いすで遊ぼう」の後援依頼あり。⇒承認

4. 千葉県歯科医師会より「いい歯のイベント2024」に対する後援

千葉県歯科医師会より「いい歯のイベント2024」に対する後援依頼あり。⇒後援承認

5. 県士会活動における感染症予防対策の指針[Ver.5]について

県士会活動における感染症対策の指針[ver.5]では、新型コロナウイルス感染症だけでなく、他の様々な感染症にも対応できるものとした。各会員が所

属施設の感染指針に則り、日ごろの健康管理と感染対策の徹底し、現在の社会情勢を踏まえ、飲食をとまなう懇親会などについても緩和した表現に変更した。⇒[ver5.]の運用を承認

6. 賛助会員の新規問い合わせ

(株)日立ケーイーシステムズ ⇒入会を承認

7. 県士会における政治活動に関する臨時総会での意見を受けて

政治活動について代議員と三役で意見交換を行った。今回の件について詳細な経緯説明、事実確認を行った。協会からの依頼であれば、県士会の同行は問題ないという認識である。県士会に関する情報発信や意見交換に問題はなく、県議会議員、市議会議員などへの要望活動では、県士会として選挙活動になるような形で繋がらなければ、県士会としての必要な政治活動を行うことは可能。また政治活動に関しては、連盟と連携し、必要に応じて今後も理事会での話し合いを通して是非を判断する。今回明らかにしたことは、①特定の政治家の選挙活動は行わない。②政治活動については県士会と連盟が連携・協力しながら進める。③県士会の活動(特に政治活動)に対する認識、問題意識は様々であるため、その都度率直な議論・意見交換(意見の吸い上げも含め)を続けつつも、特定の意見に振り回されることなく健全な活動を心掛けていく。

【報告事項】

1. 船橋市再犯防止推進ネットワーク委員の推薦について

2. 令和6年度のトリプル改定における各分野の処遇改善の調査について(制度対策部)

3. 前回理事改選後の書類届出不備について

2024年度 第3回 理事会

2024年6月13日(木) 19:00～21:00 保医大幕張キャンパスにてハイブリッド会議
坂田 須藤 今野 松尾 有川 池滝 兼子 金平 熊谷 五味 佐々木 (啓) 下田 多田 露崎 野口 安森 横山 古城 計 18名

【検討事項】

1. 令和6年度定時総会

代議員からの質問に対する回答は、6月15日(土)に公開する。6月23日(日)午前に千葉県立保健医療大学幕張キャンパスにて総会開催予定。

2. 総会議事録の県士会ホームページ公開ならびに公開範囲について(広報委員会)

代議員より議事録は会員専用ページに載せてはどうかという意見があった。近隣の士会である東京都士会、神奈川県士会は公開されており、千葉県士会においても公開したいとの希望あり。⇒承認

3. 県士会ニュースの県士会ホームページでの公開範囲、ホームページ上での賛助会員広告掲載について(広報委員会)

県士会ニュースは公開したいとの意見あり。賛助会員広告掲載で税金がかかる可能性があるという指摘があり、どのように対応することが望ましいか。⇒広告掲載せずに県士会ニュースを公開する。賛助会員広告について規定の再検討を行う。

4. 県士会の担当税理士報酬について(財務部)

担当税理士には長い期間報酬を変えず対応いただいていた。昨今の人件費高騰に伴い、報酬を増額し契約を更新したいと考えている。⇒承認

5. 千葉精神医療人権センターの準備室について

イベントに向けての後援依頼があった。⇒承認

6. 学会Instagramの開設について(学会委員会)

学会の広報を行うためInstagramを開設したいと考えている。⇒承認

7. 今年度の研修会実行委員の再編について(東葛北部・南総ブロックへの協力をお願い)

生活期リハビリテーション実務者研修会実行委員が東葛南部ブロックに偏っているため、東葛北部、南総ブロックに協力いただきたい。

⇒東葛北部、南総ブロックでスタッフ協力の依頼をしていく。

8. 研修会参加のキャンセルに伴うキャンセル料について

前回理事会で研修会のキャンセルに伴う参加費の返金について統一させてはどうかという指摘があった。

⇒自己都合で研修会をキャンセルした場合には振り込まれた参加費は返金しない。ただし、二重払いの場合には返金する。主催者側の都合で中止した場合には、振り込み手数料込みで返金する。

9. 「作業療法学生を支える有志の会」の研修会と募金の広報依頼について

研修会と募集の案内をホームページに無料掲載可能か。⇒正式に問い合わせをしていただくこととした。

【報告事項】

1. 東葛南部ブロックからの活動報告

2. 福祉用具対策委員の現委員長退任に伴う次期委員長に関して

3. 臨床実習指導者講習会の開催報告

4. ちばPOSでの検討の経過報告

法人化の議論は一旦保留となり、名称は「千葉県リハビリテーション専門職協会」に改めることになった。

5. OT協会の地域事業委員会の開催について

6. よんばち会議の開催について